

「美しいキモノ」×「あづま姿」コラボレーション製作

豊かな胸をすっきり補整

さらしメイクブラ

2種類の生地(伸縮素材と綿ブロード)を組み合わせることで、さらしを巻いたような補整力がありながら、窮屈でない着心地を実現しました。年齢とともに体型は緩むのが自然ですが、夏のきもの姿はそれだけでなくも体型があらわになりやすいため、胸が豊かな方は補整力のある和装ブラジャーをお試ください。予想以上にすっきりとした着姿に満足できると思います。



使用後

「さらしメイクブラ」を着けてからきものを着ていただきました。胸全体がすっきり整っています



使用前

ぼつちりタイプで胸が豊かな方は、胸が両脇に流れ、自然に帯の上のようになりがちです

肩紐と背には伸縮素材を使用しています。白地花柄にレースの縁取りで清楚な印象に作りました

肩紐は面ファスナーの脱着式で長さや向きの調節可能。衿元には取り外し可能な補整パッド付き



後



前

背に用いた伸縮素材は適度に締め、背骨との間に空間を作るため、熱を逃がす効果もあります
さらしメイクブラ ◆サイズ(アンダーバスト70cm~80cm)6,300円 (85cm、90cm)6,825円 (95cm、100cm)7,350円 すべて参考価格

フロントホック式で2段階調節が簡単にできます

バスト部分裏生地には、吸水・速乾性に優れたクラレ(ウオーターマジック)生地を使用しています

「美しいキモノ」では、着つけ用具の専門メーカー「あづま姿」とオリジナル和装下着を共同開発しました。内にももる夏の暑さを解消するため、素材と機能性にこだわって工夫した半襦袢や肌襦袢、裾よけ。そして、緩んだ着姿を補整する強制力の強い和装ブラジャーも、着心地良いものができましたのでここにご紹介いたします。三三四頁のモニターのご感想もご覧ください。また、次号・秋号では、編集部が夏場に実際に着用したモニター報告も予定していますので、お楽しみに。

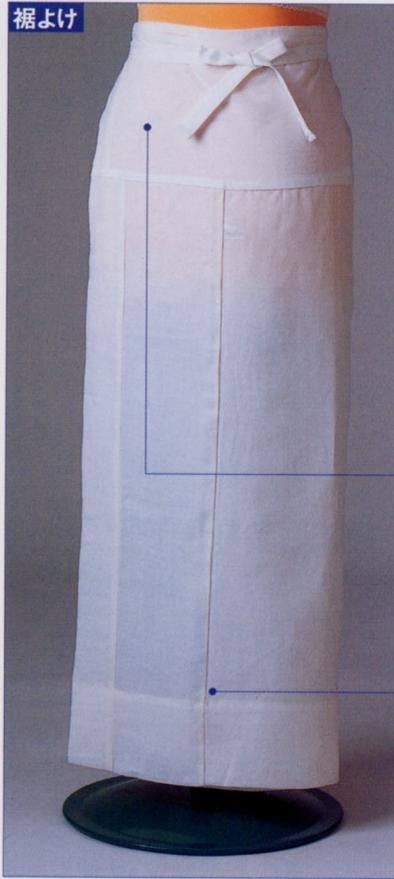
撮影/塚本博昭(S.T.M.E.D.)
きものと帯/磯野商店 帯/龍工房
着つけ/板橋生后
帯あげ/加藤萬

素材と機能性にこだわって作られた
「ひんやりLINE」^{ライン}ランジェリー
「美しいキモノ」オリジナル
和装下着ができました！



店頭での目印は、写真のパッケージに見える「ひんやりLINE(ライン)」という名前のロゴマークと、「美しいキモノ」と共同開発の文字。「さらしメイクブラ」にも共同開発の文字が入っていますので、確認してお求めください。

裾よけ



純国産麻で裾から涼しく

「ひんやりLINE」 裾よけ

純麻生地をたっぷり使った、夏ならではの裾よけ。裾よけは薄すぎると頼りないものですが、この裾よけはしっかりしています。

ウエスト部分はキシリトール加工を施したさらし生地を使用しました。キシリトールは苺などに含まれる天然の糖アルコールで、生地に加工すると、汗などの水分による吸熱効果で体温の上昇を防ぐ効果があり、爽やかな涼感が得られるのが特徴です

本体は、自然のひんやりとした涼感と通気性抜群の、純麻を使用しています
裾よけ◆9,975円(M)
10,290円(L) 参考価格

小千谷縮の紹衿付き

「ひんやりLINE」 半襦袢

袖と身頃は肌襦袢と同様の生地使いで、半衿は上質な小千谷縮を丁寧に手縫いした高級仕上げ。着るたびに洗えるのもうれしい。

半衿は手縫いの小千谷縮。特別の冷涼感について首を半衿に傾けてしまうほど



前

身頃はキシリトール加工のさらし生地使用。爽やかな感触

袖は純麻を使っています。麻の涼しさは真夏になると実感されます

作り付けの衣紋抜きは、3段階に抜き方が変えられるようになっています



後ろ

腰紐は細めの別紐が付いています。半襦袢◆18,900円(M) 19,950円(L)参考価格

涼感にこだわった設計

「ひんやりLINE」 肌襦袢

袖には天然繊維中最高に冷感のある麻100%生地を使用。ひんやりとした肌ざわりと通気性の良さが抜群。身頃には爽やかなさらし生地を。

袖には純麻生地を使用。麻は汗ばむ肌にひんやりとした感触で心地良いもの



肌襦袢

身頃にはキシリトール加工のさらし生地使用。体温の上昇を防ぐ効果で、爽やかな涼感が得られるのが特徴。肌襦袢◆8,190円(M、L共)参考価格

+さらしメイクブラ



ここでは、さらしメイクブラを素肌ではなく、肌襦袢の上に着けてみました

完成



着心地の良い下着を身に着け、夏の華やかな席にも汗を気にせず安心してお出掛けください

完成

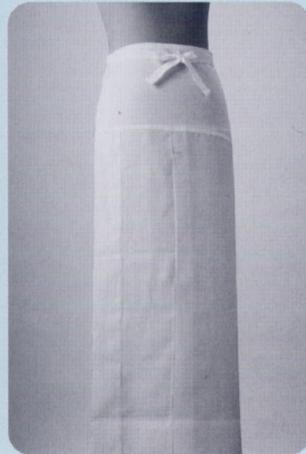


紹介した下着をすべて着けてみました。着るたびにいつでも家庭で洗えるのも魅力です

使ってみました! 噂の「肌襦袢&裾よけ」モニター

ちまたで噂のアイテムを愛読者の方々が試用する連載です。
今回は、着つけ用具等のメーカー「あづま姿」が小誌と共同開発した和装下着を3名の方に試していただきました。
普段からよくきものを着ている方々の「生の声」をお伝えします。

撮影/板橋孝夫



あづま姿の「ひんやりLINE 肌襦袢・裾よけ」

5月20日発売開始予定の和装下着「ひんやりLINE」。着つけ用具メーカー「あづま姿」と「美しいキモノ」が共同開発したオリジナル和装下着です。内側にこもる夏の暑さを少しでも解消できれば、と素材と機能性にこだわって製作。和装用ブラジャー、半襦袢、肌襦袢、裾よけの4アイテムのなかから、今回は肌襦袢と裾よけをモニターしていただきます。

素材は純国産麻とさらし生地。さらし生地には体温の上昇を防ぐ効果があるとされる、キシトール加工が施されて、爽やかな涼感が得られます。肌襦袢/8,190円(M・L共) 裾よけ/9,975円(M) 10,290円(L) すべて参考価格 ◆あづま姿(☎06-6382-2716) ※商品詳細はP.288~289をご覧ください



花柳春百華さん

はなやぎ はるもか◎日本舞踊家・花柳 春さんに師事。昨春、名前を許され春百華に。5月に東京・渋谷「セルリアンタワー 能楽堂」の「朱鷺之會」にてデビュー

4月下旬の日本舞踊の稽古の際に着る、小紋などの下に「ひんやりLINE」を試用しました。触ると少しひんやりしており、これから夏に向かっの激しい稽古には向いているように思います。稽古中は、よく汗をかくのですが、そのまま踊り続けても、気持ち悪さがなく、吸湿性や通気性の良さを感じました。やはり身頃が麻素材だからでしょうか、さらりとした肌触りに特徴があるように思います。普段は袖なしの半襦袢を着てお稽古するので、この肌襦袢は少し袖が長いように感じましたが、実際、着てみるとそれほど抵抗を覚えません。すんなりなじむように思いました。気に入ったのは袖口についたレース。派手すぎず、可愛い感じ。この肌襦袢を舞台用にするのであれば、衿の縁まわりが赤やとき色のものがあると、艶やかになってよいかもしいと思います。裾よけは、非常に裾さばきが良いのに驚きました。さらりとしてまとわりつかず、動きの激しいお稽古時にも便利です。紐の長さもちょうど良く、ある程度の太さがあるので肌に食い込むことがなく快適でした。夏もこのまま着用を続けたいと思います。



安達絵里子さん

あだち えりこ◎小誌にて「おしゃれの醍醐味」やエッセイ「きものライターのパリきもの暮らし」を連載中の編集者。子育て中ながら毎日きものを着ている愛好家

身に着けた途端にひんやりする感覚があった肌襦袢と裾よけ。4月に試用したのですが、早朝は寒いくらいで、思わず暖房をいれてしまうほど。きもの下に涼しさをまとっている感じでした。盛夏はもちろんのこと、9・10月の、いまだ暑いのに盛夏物を着られない時期に重宝するのではと思われ。一日中身に着けてみたのですが、熱気がこもるといった感覚はなく、さらりとしていました。暑い最中はどんな着心地になるか楽しみです。純国産の麻素材ということに製作者の思いを感じます。しなやかさと薄さを併せ持ち、麻としては最上級の下着用だと思いましたが、裾よけはきっちり巻くように心がけました。肌襦袢に関しては、着る人によって違うかと思いますが、私は小紐が付いていたら便利なのに、と思います。今回、着つけをする際は、肌襦袢を身につけ、長襦袢を重ねて、長襦袢の胸紐と一緒に押さえるようにしました。私は肌が弱いほうではないのですが、商品を袋から出して初めて着たときにチクチクとした感じがしました。麻だからでしょうか。これは洗濯をしたら気にならなくなりました。



赤崎由美子さん

あかさき ゆみこ◎着つけ教室や書道のお稽古に忙しい毎日を送っている。お稽古時のほか、友人との食事会やお出掛けなどに、小紋や袖をエンジョイ中

今までの麻とは違い、サラッとしてごわつかない肌触りに驚きました。袋から取り出したときは、綿を思わせる感触で麻かしら?と、表示を見直したほど。純国産の麻は、このように滑らかなのかと感動しました。着用した感じでは、べつつくことがなく、ひんやりしてクールな印象。普段は脇の下が開いておらず、マチのある肌襦袢を着用しているので、このように脇の下が開いたタイプは通気性が良く、暑い時期には助かるだろうと思います。小紐がつけば、より便利かもしれません。裾よけもサラリとして、もたつくことなく、着心地がとても良いと思いました。衿の下に着用したのですが、本当にひんやりしているのには驚きました。ただ、肌襦袢と裾よけが別ですと、ウエストからお腹にかけて重なる部分が出てきます。盛夏になればなるほど、そこが暑いと感じるかもしれない、と心配です。ワンピース型も開発されれば、より涼しく着こなせるのではないかと、思いました。純国産の麻素材ということですから、お値段は妥当だと感じます。ぜひ、今夏は麻の長襦袢を新調して、この肌着とともに使用したいと思っています。